



あけやき

南中学校だより

校長 保坂 哲也

～令和3年 新しい年が始まりました！～

新しい年、令和3年となりました。そして、令和2年度の3学期も始まりました。昨年からのコロナ禍は一向に衰えることなく、さらに勢いを増してきています。しかし、こんな時だからこそ、一人ひとりができることを確実にやり、他を思いやり、前を向いて歩いていきましょう。さて、今学期の始業式での私の言葉、そして、各学年代表生徒の言葉を紹介します。

「一歩一歩確実に」

校長 保坂 哲也

皆さん、あけましておめでとうございます。短い冬休みでしたが、皆さんはどのように過ごしたでしょうか。今年は例年になく静かな年末、そして、年始だったと思いますが、何より、うれしいことは皆さんとこうして無事に新学期を迎えられたことです。これも、日頃の一人ひとりの心がけや、意識の高さの成果だと思っています。ところで、今年は丑年です。「牛」は古くから酪農や農業で人間を助けてくれる大切な生き物です。大変な農業を地道に最後まで手伝ってくれることから、「丑年」は「我慢(耐える)」という意味や、十二支(じゅうにし)の2番目の干支(えと)であることから、子年に蒔いた種が芽を出して成長する時期、即ち、「発展の前ぶれ(芽が出る)」「成長する時期」を表す年になると言われています。これから一段と気を引き締めなければならないコロナウイルスとの戦いで我慢することも少なくないと思います。しかし、こんな時ほど、先を急がず、足元を固め、一人ひとりが地道に突き進むことで新たな発展へと繋げる年にしていきましょう。さて、いよいよ、学年最後の学期である3学期が始まります。3学期は言うまでもなく、寒くて短い学期です。でも、1年の総まとめをするとても大切な学期です。3年生は、卒業を迎え、高等学校をはじめ、新たな社会に巣立ちます。南中生として後輩に素晴らしい姿を見せてください。2年生は3年生からのタスキを受け取り、学校の顔として歩み始める時です。学校全体の先頭に立ち、また一歩発展した新たな南中を創り上げることができるよう、目的を達成しようとする意識・意欲を持ってもらいたいと思います。そして、1年生、中堅学年として、南中をしっかりと支えることができるように、先輩と共に、そして、やがて来る新入生と共に、確実な一歩を刻んでいってください。寒い冬が続きますが、その後には、新たなはじまりと共に、暖かな春が待っています。全校生徒「南中生としてのプライド」をしっかりと持ち、3学期の階段を一歩ずつ着実に上っていきましょう。皆さんの頑張りを期待しています。

「過ぎ去っていく時間」

3学年生徒代表

私達3年生は、中学校生活最後の学期を迎えました。

振り返ってみると、時間の流れは本当に速いなと実感させられます。さて、3年生には、高校受検が今週末から始まる人もいます。心身共に疲れが溜まってきていると思います。時には、休息も必要です。しかし、それでも私達は、走り続けなければなりません。自分自身の夢のためにも、精一杯の努力を今後とも重ねていきたいと思っています。

今年度は、コロナの影響がありますが、数々の壁を乗り越えて得た経験値は、必ずや私達の未来に生きると思います。

時間は、誰にも平等に与えられます。それは、誰もが知っていることですが、その時間の使い方は人それぞれです。今、自分が怠けている時間でさえ努力をしている人はたくさんいるはずですよ。

1分1秒、それを最高のものとするか、はたまた無意味なものとするか、すべては自分自身に委ねられます。

最後に、受検、そして、中学校卒業は、すべての終わりではありません。

これから先、まだまだずっと続く果てしない夢への道のりの【始まり】です。だからこそ、最後の最後まで、後悔のないものにしたいと思いませんか。今という時間、過ぎ去っていく時間の中で、何ができるか今一度考えてみるべきです。

「正しき自主」

2学年生徒代表

短い冬休みもおわり、いよいよ三学期が始まりました。三年生は受験勉強、一・二年生は部活動やこれまでの復習など、それぞれが有意義に活用することができたのではないかと思います。

さて、今日スタートした三学期は他の二つの学期と比べて最も短いですが、「次の学年のゼロ学期」とも呼ばれるとても重要な学期です。私達はあと少しすると、南中の顔として手本となる行動をし、下級生を引っ張っていく立場になります。そこで私には、学年として力を入れたいことがあります。

まず、生活面です。青学は一年生の時から、三分前着席や自主学ノートなどを通して、「自主性」の向上を図る取組を継続して行なってきました。しかし、学期末の反省には「呼びかけや取組がないと意識できない」という課題が多く挙げられました。これを改善するために、三学期は「個々が自分でできることを考えて行動する」ことを目標とした取組を行いたいと考えています。また、二学期に部活動や委員会の引継ぎが行われたことによって、私達は先頭に立って動くことが増えました。先輩方の背中を見て学んだ多くのことをこれからの活動に活かし、よりよい南中を創っていきたいと思います。

次に、学習面です。三学期・春休みを終えると、私達はいよいよ高校受験を意識していく必要があります。進む進路はそれぞれ違えど、全員が切磋琢磨し、成長していけるような関係を築きたいです。そのためには、やはり個々が努力をする「自主性」が必要だと思います。そこで、三学期にもう一度、テスト期間とは別の「学習強化週間」を設けたいと考えます。一週間という短い期間ですが、個々の課題と向き合い、学習に積極的に取り組めるとよいと思います。未来の自分のため、日々の小さな努力を怠らないようにしたいです。

「二年生ゼロ学期」

1学年生徒代表

あっという間に一年が終わり、新しい年を迎えた今。昨年は新型コロナウイルスの影響で沢山のことが奪われ、思い出づくりどころか、感染対策に力を入れるばかりでした。今も先の見えない日々が続いていますが、いつか晴れることを願っています。

私達一年生は、入学して約七ヶ月が経ちました。長いようで短いような時間の中で沢山のことを学び、経験してきました。そんな私達も二学期が終わり、いよいよ二年生への準備に向かう三学期を迎えました。私は、二学期に委員長への立候補をするか悩んだときがありました。でも、ある先生が一人じゃないことを教えてくれました。私はそのことを教えてもらってから委員長への挑戦を決めました。正直この決断は良かったのか、今でも考えることがありますが、残り少ない時間の中で良かったと思えるように、クラスの皆からも思ってもらえるように、最後まで、しっかりとつとめていきたいです。

学習面では、二学期に出た「勉強と学年生徒会の両立ができなかった」という反省をもとに、しっかりと計画を立てて自分で自分を苦しめないように取り組んでいきたいです。

生活面では、日々支えてくれる家族や友達、先生などに、日ごろの感謝を伝えられるよう一つ一つの行動でしめしていきたいです。

残り三ヶ月、「二年生ゼロ学期」も充実した日々を送っていききたいです。